

～年頭のご挨拶～



大阪木材工場団地協同組合
理事長 堀川 昇

新年明けましておめでとうございます。

令和4年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

平素は、大阪木材工場団地協同組合の事業運営に対してご支援とご協力を賜り心よりお礼申し上げます。

昨年は、「新型コロナウイルス感染症」の感染拡大に伴い、ここ大阪でも延べ160日以上にわたり緊急事態宣言が発出されるなど、社会経済活動に大きな影響を与えられたとともに、日常生活でも我慢を強いられる状況が続いた一年でありました。

しかしながら、ワクチンの開発が予想された以上に急ピッチで進み、多くの国でその接種が進んだことから、特に我が国においては、8月頃をピー

クに新規陽性者や重症者・死亡者数等は減少傾向となっており、新たな変異株の影響等による感染再拡大は懸念されるものの、本格的な経済活動の再開と平穏な日常が1日でも早く戻ることを期待しております。

さて、当協同組合は、昭和37年6月の創立より60周年の期間に入る記念の年を迎えており、これもひとえに皆様方のご支援・ご協力の賜物と深く感謝させて頂くとともに、現在、様々な記念事業の企画について鋭意検討を行っておりますが、そのメインイベントとして、11月4日に大阪市内において「創立60周年記念式典」の開催を予定しており、組合員をはじめご来賓等多数の方々をお招きし、皆様と一緒に60周年を祝したいと考えております。

また、昨年来より策定作業を進めておりました、協同組合の「2021中期ビジョン」が昨年5月にまとめられました。今回で7回目となる本ビジョンでは、協同組合の「存在意義」や「強み」等を言語化

することを通じ、「継承すべきものは何か?」「変えるべきものは何か?」「新しく始めるものは何か?」を再確認する機会となりました。今後はこのビジョンの提言を受けた、様々な取り組みが協同組合の更なる飛躍に加え、木材団地の活性化と付加価値向上につながることを切に願っております。

皆様方におかれましては、本年も引き続き協同組合並びに美原団地協議会の運営にご理解とご協力をいただくようお願い申し上げます。

結びとして、皆様方にとりまして、本年が幸多き1年となりますよう心からお祈りいたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。



の歴史文化の連携強化による地域の魅力向上をめざしています。

また本年4月には、美原区に「堺市総合防災センター」がオープンします。

堺市で初となる市民体験型防災学習施設や、大規模災害発生時における広域的な災害対応拠点としての機能を備え、自助、共助、公助の連携を図り、防災力の向上を図ります。

結びに、新型コロナウイルス感染拡大防止と地域経済の持続的発展に向けて、引き続きご協力いただきますとともに、大阪木材工場団地協同組合の益々のご繁栄と、本年が組合員企業の皆様にとりまして健康で幸多き一年となりますことを祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

組合からの発信



堺市長 永藤 英機

あけましておめでとうございます。

大阪木材工場団地協同組合の皆様には、清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、組合創立60周年の節目の年を迎えられたことをお祝い申し上げます。

貴組合は、昭和37年の設立以来、木材関連を中心に様々な企業が集積した工場団地として発展され、時代ごとの課題に取り組んでこられました。

堀川理事長をはじめ、歴代役員並びに組合員の皆様のご尽力に敬意を表します。

昨年、貴組合で策定された「2021中期ビジョン」は「不易

流行」という言葉をテーマの一つにされました。

いつまでも変わらない本質的なものを大切にしながら、状況に応じて柔軟に変化していくことをビジョンに掲げ、各種研修事業の実施や工場見学会を開催されるなど、企業間交流の推進に精力的に取り組まれています。

堺市では、昨年、市政運営の大方針である「堺市基本計画2025」を策定し、堺が将来にわたり成長し続けるために、イノベーション精神を発揮し、既成概念にとらわれず果敢に挑戦し続けることを掲げています。

8月には、「S M I（堺・モビリティ・イノベーション）プロジェクト素案」を公表しました。

「歴史のまち」堺から「未来を創る」挑戦として、都心エリアと美原エリアを結び、美原と南河内地域